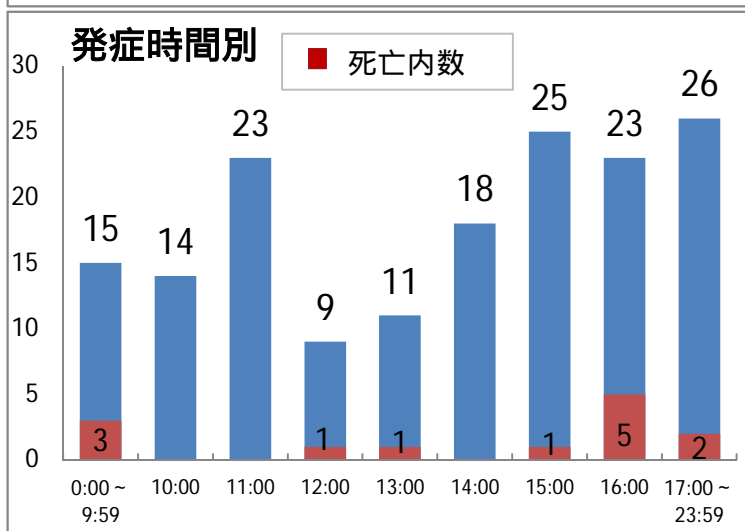
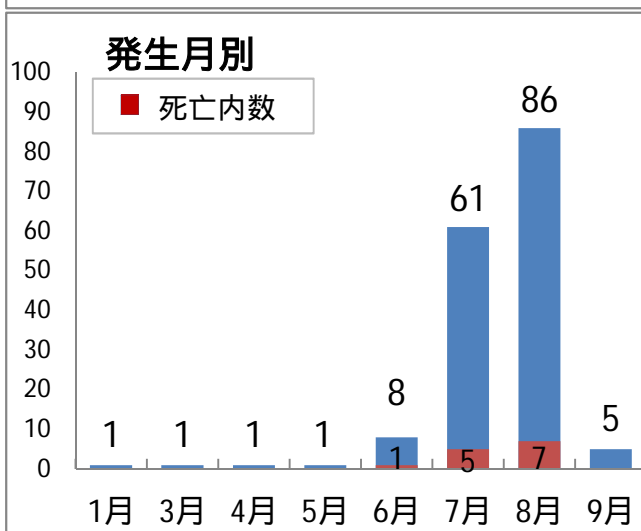
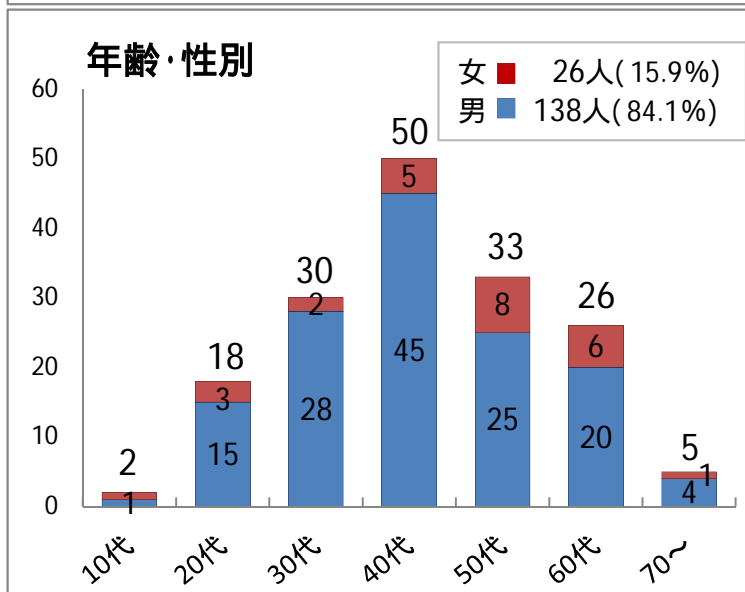
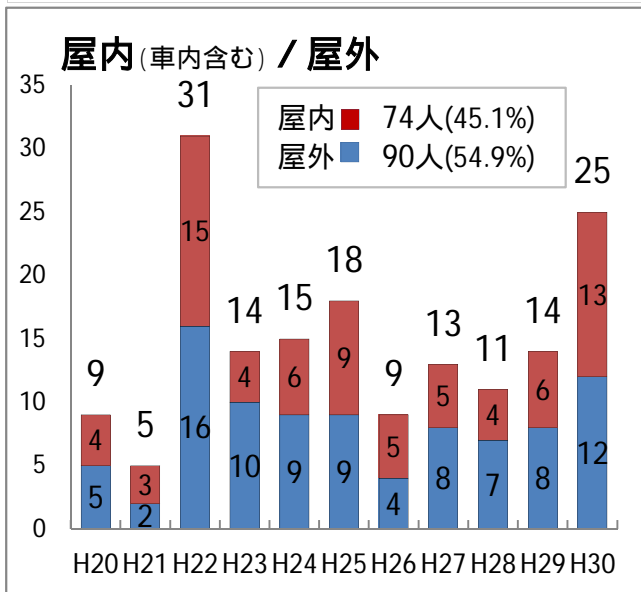
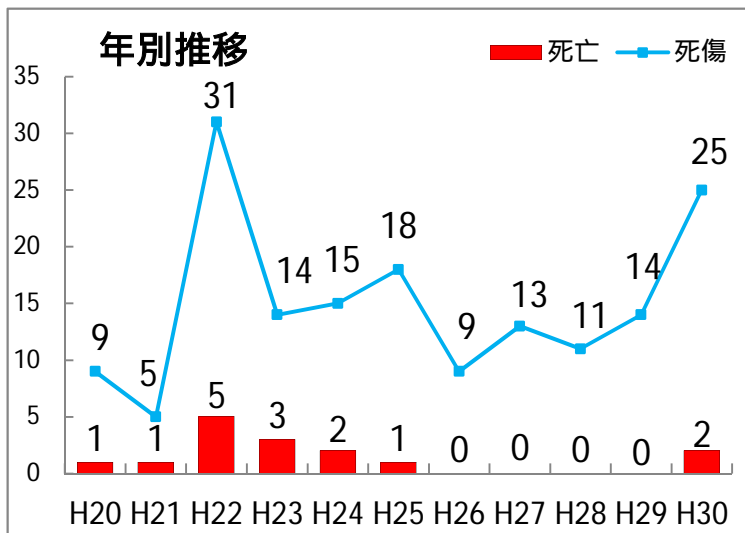
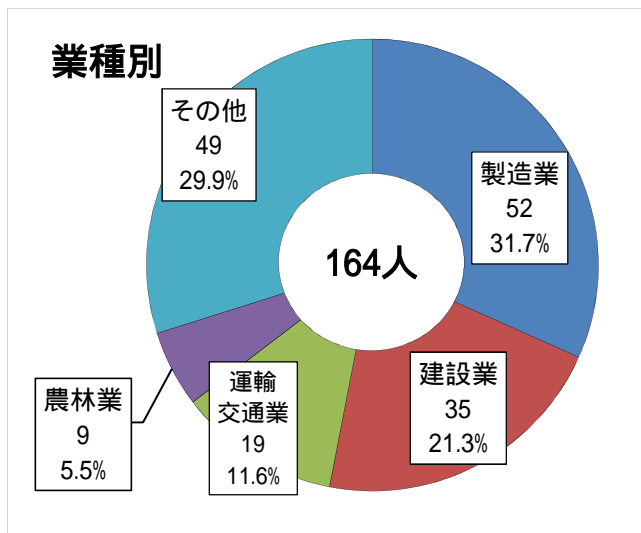


静岡県内の熱中症による死傷災害発生状況(平成20年～平成30年) 静岡労働局



分析結果

(資料出所;労働者死傷病報告)

- 業種別では、製造業が31.7%と最も多く、次いで建設業の21.3%。全国的には建設業が最も多い。
- 死亡災害は、過去10年間で14件発生している。
- 作業場所は、屋外が54.9%、屋内が45.1%であり、屋外、屋内問わず発生している。
- 年齢別では、20～60歳代まで幅広く発生している。
- 発生月は、7月、8月が多く、平成30年は25件中19件が7月中旬から8月上旬に発生している。
- 発症時間は、作業中のみならず帰宅後に発症するケースなど様々であり、朝方に発症することもある。

(参考)平成22年は記録的な猛暑により、静岡のみならず全国的に多発した年であり、5件の死亡災害は全国最多である。